

令和 8 年度 北海道花き・野菜技術研修 Q & A

Q 1 花・野菜技術センターとは、どんなところですか？

名称のとおり、北海道の新たな戦略作物として期待される「花」と「野菜」の専門試験場として、「品種改良」、「栽培技術の開発」、「土壌肥料」、「病虫害」に関する試験研究を行っていますが、「花」と「野菜」の一層の発展を支援するために、北海道の農業試験場で唯一「研修部門」を設置しています。

そのため、名称も「〇〇試験場」ではなく、「花・野菜技術センター」としています。

Q 2 花・野菜技術センターは、どこにありますか？

北海道のほぼ中央部にある滝川市にあり、市内中心部から東に約 8 k m の場所にあります。道央自動車道滝川インターチェンジにも近く、自動車のほか、バスなどの交通機関が利用できます。

Q 3 「総合技術研修」と「専門技術研修」の違いは？

総合技術研修は、今後、花き・野菜の生産を目指す新規就農者、農業後継者や技術指導を行う方などを対象に、花き・野菜の栽培に関する「基礎理論」から「実践技術」までを講義や栽培演習などにより、わかりやすく指導します。

専門技術研修は、高度な専門技術の習得を目的に、希望する研修内容に応じた当センターの担当研究グループの研究員などから個別指導が行われる研修です。このため、花き・野菜に関する専門知識や技術を持つ方などを対象としています。

Q 4 どのような方が受講していますか？

総合技術研修は、農業後継者（新卒者を含む）、Uターン就農者、新規参入（予定）者などこれから農業に関わろうとしている方、または就農、営農指導を始めて間もない方など、多様な方が受講されています。

専門技術研修は、すでに営農されている農業者や、市町村・JA などですでに技術指導を行っている方などが受講されています。

Q 5 誰が指導するの？

総合技術研修は、当センターの研究グループの研究員や外部からの講師による指導のほか、経験豊富なスタッフが対応します。

専門技術研修は、学びたい分野に応じた研究グループの研究員などが指導にあたります。

Q 6 研修はどのような内容ですか？

研修を行うための専用の「ほ場」、「温室」、「ハウス」を用意し、実際に作物を栽培する研修が受けられます。

総合技術研修の講義は、主要な花きや野菜の特性など、基本的理論を教室で学びます。

総合技術研修の演習は、主要な花きや野菜について、指導者と共に作業計画等を検討し生育状況を見ながら、栽培を進めることにより、栽培管理の技術を学びます。

さらに、受講者が自主的に営農時に取り入れたい品目を選定し、施肥設計から育苗、定植、防除等の栽培実践を指導者の指導のもと行えます。

専門技術研修は、受講者が自分の学びたい課題に合わせて受講時期、受講期間、受講方法などを計画し、当センターと調整の上、研修の内容を決めます。

Q 7 農業の経験や知識がなくても大丈夫ですか？

専門技術研修は、ある程度の農業（指導）経験や知識のある方を対象としていますが、総合技術研修は、農業経験の有無に関わらず、農業者や技術指導者を目指す意欲的な方を歓迎します。

Q 8 年齢制限はありますか？

北海道内に在住する農業者や技術指導者（目指す方）で、心身ともに健康な方であれば、年齢は問いません。

Q 9 就農地は決まっていなくても、将来、農業をやりたい人でも受講できますか？

北海道内で就農を目指す方であれば、受講は可能ですが、公益財団法人 北海道農業公社 理事長（北海道農業担い手育成センター）又は市町村長の推薦が必要となります。

Q 10 趣味で家庭菜園をやっている人も受講できますか？

受講できません。

本研修は、すでに営農されている方や、今後営農を計画されている方、又は、J A 営農指導者など、農業関係業務に携わられている方を対象にした研修であるため、受講できません。

Q 11 全寮制ですか？

全道から研修生が集まるため、当センターには「研修寮（全室個室）」を設置しています。研修寮は、研修生の宿泊の便宜を図るだけでなく、相互の情報交換の場として役立っており、受講される方には入寮をお勧めしていますが、毎日通うことが可能な方には入寮は義務づけられていません。

Q 12 授業料や教材費などはどれくらいかかりますか？

研修にかかる授業料や教材費は不要ですが、研修寮で食事をされる場合は、各自食費の負担が必要になります。食費は、朝食 400 円、昼食 500 円、夕食 600 円（各 1 食あたり）です。

Q 13 受講したいが、長期間、家を空けることができません

多くの方に受講していただくため、それぞれの事情はできるだけ考慮いたします。

総合技術研修の研修期間は 6 ヶ月間と定めていますが、すべての研修を受講できなくても、おおむね 8 割の受講を目安に修了を認めることができます。

農繁期に家の手伝いをする必要があるなどの事情がある場合は、ご相談ください。

また、各市町村ですでに研修を受けられている方についても、総合技術研修実施期間内での対応が可能ですので、ご相談ください。

Q 14 受講した方の感想は？

当センターでは、研修の感想等を無記名アンケートで調査しておりますが、これまでに受講された方のほとんどが、「知人や友人に研修の受講を勧めることができる」と回答されています。

詳しくは

地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 農業研究本部
花・野菜技術センター 研究部 技術研修グループ
〒073-0026 滝川市東滝川735番地 （担当：主査（研修））
TEL：0125-28-2211 E-mail：sphanayasai@hro.or.jp



H 当
P セ
← か
ン タ
ー
検
索